

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 令和4年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%	20%		基本運動重視なのでスペースは充分であるが、保護者の要望や子供の自主性で勉強を終わらせたい子もいるので現自習室に加え間仕切りスペースがあると良い。
	2	職員の配置数は適切であるか	60%	40%		岐阜県の基準に沿って運営している。障がい特性に見合った職員配置も心掛けている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%		1階のみの利用で入口からフラットになっているため利用者に負担はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	80%	20%		定期的にミーティングを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			年に一度保護者向けアンケートを実施して、評価表を元に継続する点、改善する点をまとめてより良い支援に繋げている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			事業所のホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40%	40%	20%	外部評価は行えていないので今後検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			オンラインや内部研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			年に2回紙面にて保護者にアンケートや日々の様子を聞き個々に適した個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60%	40%		使用しているものもあるが、全職員がより分かりやすいツールを使用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			毎月会議にて職員意見を出しあいプログラムを決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			ベースになる基本活動は平日に行うが、休日はイベントや外出訓練、四季に伴う季節感を取り入れた活動も行う。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	80%	20%		平日は生活リズムの定着と室内での活動を中心に行い、長期休暇では様々な経験ができるように課外活動を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			個別活動では学習、集団活動では活動を通して取り入れている。今後長期休暇には個別課題に対する取り組みも行っていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%		活動報告書を用いて行っているが、できていない日もあるので毎回できるように行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			終了時間によってできていない時は、翌日や会議にて行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	60%	40%		活動報告書にて記入して改善に繋げている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			半年ごとにモニタリングを行い個別支援計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	80%	20%		年に1度ガイドラインを読み合わせて活動や対応などをどう繋げていくかを職員で意見を出している。
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			児童発達支援管理責任者を中心に参加している。その後会議内容を職員会議にて報告している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			保護者を通しての連絡が主ですが学校送迎時に先生方とコミュニケーションを取ることを心掛けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	20%	20%	該当者がいない為、該当なしだが必要に応じ連絡体制を整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	40%	40%	20%	保育園や幼稚園との情報共有がなかなかできないのでアセスメントで幼児期の様子を聞いているが、今後検討していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			相談支援の方を通じて情報共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	60%	40%		コロナウイルスが緩和されたので今後積極的に研修に参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	40%	40%	20%	今まではコロナウイルスの影響で難しかったが状況に応じ機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40%	40%	20%	参加できていないので今後参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%		送迎時、連絡帳、ラインにて保護者様と情報共有を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%	40%		保護者の方から対応力などについての質問はないが、今後の為に「ペアレント・トレーニング」の研修も積極的に参加していきたい。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			悩みや相談があった場合は送迎時や面談にて保護者の不安解消に繋げています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	40%	40%	20%	コロナウイルスが緩和されたので今後保護者会やフリー参観などを開催していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			苦情があった場合はすぐに職員会議にて改善方法を話し合います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			月に1回のおたより、ラインにて活動の様子の写真を送って発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			必ずロック付きのロッカーにて保管して個人情報の管理には徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			お子様には特性に応じジェスチャーや理解しやすいスピードや話しかたを心掛けて意思疎通しています。保護者様とは送迎時、連絡帳、ラインにて情報交換しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	80%		20%	月に一回地域との方々と交流会行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			保護者様には年に一度紙面にてお渡ししています。職員には事務所にて掲示している用紙を確認してもらっています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	60%	40%		年に2回避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			毎月全職員虐待チェックリストの記入、年に1回ストレスチェックリストの記入を行っています。虐待防止に繋がる研修も参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			契約時に保護者様に詳しく説明したうえで同意書を取っています。対象のお子様には必ず計画書に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			医師の指示や保護者様からの情報に基づいて配慮をして対応している。調理やおやつ作りの内容も事前に提示しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハット事例があった際は、ヒヤリハット報告書に記入して改善方法を考え、3ヶ月・6ヶ月後の現状の様子も記入するようにした。